

令和元年度第1回医療事業推進委員会近畿地区

リーダー育成研修会

日 時 令和元年9月7日(土) 14時～18時
9月8日(日) 8時30分～12時30分
場 所 ホテルビナリオ嵯峨嵐山
参加者 9月7日 24名、9月8日 23名

1. 石川祐一医療事業推進委員会副委員長より 情報提供

- ・病院管理栄養士の将来ビジョン達成を目指す
- ・2018年診療報酬改定(栄養部門)は2020年以降の切り口となる改定内容であった
- ・2020年の要望はこれまでに獲得した項目の充実をはかり、内容としては、

(1) 地域包括ケアシステムの実現に向け、入院から在宅医療へシームレスな栄養管理、栄養食事指導体制の実現に向けた評価の充実

- ① 回復期リハビリテーション病棟における管理栄養士の適正な配置
- ② 入退院支援センターにおける管理栄養士業務の評価
- ③ 退院前における訪問指導に関わる管理栄養士の評価
- ④ 栄養ケアステーションの活用と評価

(2) 新しいニーズに対応し、安心・安全で納得できる医療体制の構築・充実を図るための入院医療における管理栄養士の活用に対する評価

- ① 患者一人ひとりの栄養管理の向上と更なる推進(病棟配置)
 - ② 新しいニーズにも対応でき、質の高い医療の提供(専門管理栄養士の活用)
- (3) 医療従事者の負担軽減及び働き方改革の推進への評価の充実

- ① チーム医療に対する管理栄養士介入による患者個々に対する栄養食事管理に対する評価
- ② 結核病棟及び精神科病棟における栄養サポートチームの介入に対する評価

(4) 効率化、適正化を通じた制度の安定性、持続可能性の向上推進のために、食事療養費に対する適正評価の実現(食事療養費の適正な評価)

2. 各府県の活動と上半期統一議題の協議、近畿地区としてのまとめ

(1) 嚥下調整食ブロック別研修会の展開について

近畿は令和2年2月15日(土)に大阪で開催。主催を大阪府でおこなう。

(2) 食事療学会の開催について

開催は「毎年開催と、診療報酬改定の改定年度のみ開催」についての議論があった。

(3) 臨床栄養認定管理栄養士受験者を各県1名は予定してほしいことについて

生涯教育の単位取得が難しいことや臨床栄養認定管理栄養士を取得することのメリットが明確でないなど、なかなか受験者が出ない現状である。

(4) 専門管理栄養士の周知と取得拡大への対策について

専門管理栄養士の情報があるたびに会員への情報伝達はおこなっている。また、診療報酬への関連(配置基準や加算など)が出来れば取得拡大につながるのではという意見があった。

(5) 管理栄養士初任者研修の周知と充実について

初任者研修を受けている施設が少なく情報が不十分である。また実施施設からメリットが感じられないという意見もある。

(6) 退院時支援に関わる栄養支援の取り

組みの実態把握について

急性期の病院では約3割程度が退院時支援に積極的に取り組んでいるものの、病院によっての差が大きい。府、市町村等行政からの取り組みや受託に病院も参加した取り組みがあった。

(7) 会員増対策について

県と地区ごとの取り組み強化、学生や委託業者への声掛け、新人職員対象のワールドカフェの実施等の取り組みがあった。

3. 食事療法学会について

(2021年京都府開催)

- ・2020年は千葉県、2021年は京都府で開催予定
- ・京都府開催では近畿地区としての開催として考えており、京都府以外の協力もお願いしたい
- ・場所は京都テレサ。一番大きい研修室が850人の定員のため、850名程度の規模で

開催を検討している。

- ・財源確保のため、まず広告、企業展示、協賛してもらえる業者確保が先決で、日本栄養士会の賛助会員以外は各府県で業者確保をお願いしたい。
- ・学会案内ビデオを作成するため、各府県で写真や画像を集め作成したいと考えている。

4. その他

- ・第33回臨床栄養学術セミナー9月29日東京で開催予定。内容は嚥下調整食についてであり、本セミナー後に各ブロックで研修会の展開をおこなう。
- ・スキルアップ研修会12月7日福岡で開催予定
- ・次回第2回近畿地区リーダー研修会は令和2年2月9日(日)で日程調整する。
場所は、(公社)大阪府栄養士会事務局
(文責 医療 内菌雅史)